



ウガンダのムベンデ県にてレモングラスの栽培拡大と環境教育による 環境保全事業

活動報告 2.1 プロジェクト地域の環境改善や課題について 4 準郡で郡長を交えた対話 (dialogue) 会議 (会場) : 準郡役所本部

日付: 2017 年 9 月 2 日 ~ 2017 年 9 月 9 日

序論

地球環境基金の助成金、及び Global Bridge Network (GBN) の支援を受け、SORAK Development Agency は 4 か所の準群役所本部にて環境悪化を改善するための対話を実施した。

対話の目的

課題の明確化及び環境悪化を改善する可能性を含む手段の思索。

参加者

対話には男性 75 名と女性 125 名、合計 200 名が参加した。4 か所の準群での対話に 50 名ずつ参加した。以下に記された準群の役所本部で開催された。

	開催日	準群名	参加者数	合計
1	2017 年 9 月 1 日	チバリンガ準群	50	200
2	2017 年 9 月 2 日	ナビンゴーラ準群	50	
3	2017 年 9 月 5 日	チガンド準群	50	
4	2017 年 9 月 7 日	カサンビア準群	50	

参加者数

活動内容	参加者		合計
	男性	女性	
課題の明確化及び環境悪化を改善する可能性を含む手段の思索のための対話	75	125	200

ファシリテーターと役割

本対話を実施した担当者および各役割は以下である。

1. **準群代表** : 対話の間、参加者に環境に関する準群の規制の説明を担う。
2. **Muhammad Kyeyune - SORAK Development Agency 代表** : 現地 NGO の代表。SORAK の活動や背景について簡潔に述べ、ムベンデ県における環境改善に向けてのプロジェクト、地球環境基金からの支援や環境保全局との連携について説明。
3. **Nnakiruuta Hadijah - プロジェクトマネージャー (SORAK Development Agency)** : 事業について参加者が自由に議論するように進行。

対話の目的

1. 環境保全施策としてのレモングラス栽培の重要性

2. 準郡による環境保全活動、及びレモングラス栽培のような環境保全施策への最大限の尽力の必要性

対話の実施

◇議論

参加者は準郡による多大な尽力が本事業実施に向けられた場合、ムベンデ県の地域のこれまでの自然環境悪化の回復において、本事業が期待される結果をもたらすと説明を受けた。これまでの森林・自然はもはや存在しなくなり土壌は浸食されたが、レモングラス栽培は土壌の浸食を防ぐのに役立つと指摘された。以上より準郡代表たちは環境悪化を防ぐことに加え、彼ら自身の生活を向上させるため、準郡が施行する環境保護政策を実施し、準郡地域でレモングラス栽培に取り組ませるように奨励された。



準郡代表がレモングラスに関する概要を話している様子

レモングラスの活用と効果

参加者は以下について説明を受けた。

レモングラス

- 畝に植えられたとき、レモングラスはコーヒーやバナナ農園の水の流出を効果的に管理できる。
- レモングラスの強く、さわやかな香りはストレス、神経の疲労、頭痛及び時差ボケに関する症状を緩和する。
- レモングラスは精神安定作用があり、ストレスや不眠症を緩和する。
- 唐辛子を混ぜ合わせることで吐き気及び月経を緩和する。
- 紅茶として摂取すると、利尿効果がある。

使用済みのレモングラス

- 糖蜜と混ぜ合わせたとき使用済みのレモングラスは飼料として、また肥料としても使用できる。
- 使用済みのレモングラスを燃焼させ炭粉とすれば、ブリケット炭の生産に活用できる

レモングラスのエッセンシャルオイル

- 体全体の健康増進として作用し、病気から回復しているとき必要となる副交感神経系を強化、また腺分泌物の活性化にも役立つ。
- 細胞組織や筋肉の調子を整え、筋肉をより柔軟にすることによって筋肉の痛みを緩和することができる。
- 血液循環の改善及び防虫剤として作用する。
- ニキビ治療および余分な油分を肌から取り除く。またアスリートの足の治療として過度の汗を止める作用を持つ。
- 発熱、喉頭炎、咽喉炎等の呼吸器感染症の治療に適し、病気の感染拡大も防ぐ
- 胃腸炎、消化不良及び大腸炎の治療、加えてペットのしらみやダニ及びノミの治療にも用いられる。

対話の結果及び成果

1. 対話は首尾よく行われ、SORAK と準郡代表がそれぞれの準郡にて大規模な環境悪化をもたらす問題について議論する機会を提供できた。
2. 対話により、準郡代表らにレモングラス栽培は環境保全だけでなく、収入向上活動の中で最も実践的な活動として新たな方向性を見出させた。
3. 準郡代表たちは環境保全政策を実施することに同意した。



カサンビア準郡にて、準郡代表が主要な環境課題について議論している様子

チバリंगा準郡代表 Matovu Julius さんの言葉を引用

“レモングラスを栽培することで環境悪化を改善できるということとを初めて知りました。地球環境基金及び環境保護局からの支援により、今回のような対話できて、私たちは大いに感謝します。”